



平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンスクリエイト

コード番号 8798 URL <https://www.advancecreate.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 佳治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 村上 浩一 TEL 06-6204-1193

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	6,939	19.9	817	38.4	794	37.5	544	29.8
29年9月期第3四半期	5,787	6.8	590	△13.8	577	△12.9	419	5.3

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 568百万円 (28.4%) 29年9月期第3四半期 442百万円 (9.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	51.74	-
29年9月期第3四半期	39.54	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	7,306	4,380	59.9
29年9月期	7,716	4,577	59.3

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 4,380百万円 29年9月期 4,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	-	22.50	-	25.00	47.50
30年9月期	-	25.00	-	-	-
30年9月期(予想)	-	-	-	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,230	13.4	1,270	21.7	1,230	20.1	780	5.1	74.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期3Q	10,999,100株	29年9月期	10,999,100株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	525,432株	29年9月期	417,132株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期3Q	10,529,752株	29年9月期3Q	10,618,188株

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「従業員持株会支援信託ESOP」制度に係る信託財産として、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）が所有する当社株式及び「株式給付信託（J-ESOP）」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

この度の大阪北部地震と平成30年7月豪雨により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当第3四半期連結累計期間(平成29年10月1日～平成30年6月30日)におけるわが国経済は、政府・日銀による経済財政政策を背景として企業収益の改善傾向が持続すると共に、所得・労働環境が着実に改善するなど、全般的に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米国による大幅な関税政策見直しによる政治・経済的対立や中東の地政学リスクの高まりが懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、保険業界においては経済のグローバル化進展やAIやIoTなどのテクノロジーの発展により更なる経営の高度化と人生100年時代に即した、お客様本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)の実現を求められております。

当社グループは、保険流通改革のパイオニア企業として、国内最大級の保険選びサイト「保険市場(ほけんいちば)」を主軸とするサービスにより、お客様のあらゆる保険ニーズに対応できるプラットフォーム戦略を推進してまいりました。

国内最大級の保険選びサイト「保険市場(ほけんいちば)」は、保険情報のディストリビューターとして、さらなるお客様のユーザビリティ向上と、保険会社各社との連携強化のための進化を追求しております。

高品質な保険の比較・申込サービスを推進するために、従来のIT・システム投資のみならず、新たなマーケティングツールの開発やSNSの活用など効果的なWebマーケティングによりコスト効率の向上を図り、保険に対するニーズに着実にアプローチしております。

さらに、ガバナンス体制およびコンプライアンス体制の充実や情報セキュリティ体制の強化を継続し、平成28年5月施行の改正保険業法に適應した保険募集管理体制の強化に全社的に取り組み、管理体制面においても積極的に経営資源を投下しております。

また、当社独自開発の顧客管理システムを活用したCRM戦略の一環として、協業提携先とのネットワーク化を進め、万全の顧客管理と保全管理体制を構築しながら高度なお客様サービスを実現しております。

これらの取り組みの中、保険代理店事業においては堅調に推移し、増収増益となりました。なお、メディア事業におきましては、スポットでの広告受注から、レギュラー広告受注へと形態が変化してきたことに伴い一時的に減収となっておりますが、当社の強みであるWEB広告の運用ノウハウを活かし、着実に業容拡大を図っております。また、再保険事業におきましては、再保険収入が引き続き順調に伸長いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,939百万円(前年同期比19.9%増)、営業利益は817百万円(前年同期比38.4%増)、経常利益は794百万円(前年同期比37.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は544百万円(前年同期比29.8%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

保険代理店事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,178百万円(前年同期比20.5%増)、営業利益は616百万円(前年同期比76.8%増)となりました。

メディア事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は484百万円(前年同期比16.5%減)、営業利益は127百万円(前年同期比11.6%減)となりました。

再保険事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は539百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益は71百万円(前年同期比25.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は409百万円減少し7,306百万円、負債は212百万円減少し2,926百万円、純資産は196百万円減少し4,380百万円となりました。

資産の減少の主な要因は、未収入金の減少439百万円であります。負債の減少の主な要因は、未払法人税等の減少271百万円によるものであります。純資産の減少の主な要因は、自己株式取得等に伴う自己株式の増加220百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月10日付の「平成29年9月期決算短信」にて公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,302,142	1,249,454
受取手形及び売掛金	582,273	570,486
未収入金	1,956,129	1,516,180
繰延税金資産	103,288	51,346
その他	380,861	690,323
流動資産合計	4,324,694	4,077,791
固定資産		
有形固定資産	553,205	454,584
無形固定資産		
ソフトウェア	577,286	531,071
その他	107,840	38,514
無形固定資産合計	685,127	569,586
投資その他の資産		
投資有価証券	351,816	387,110
差入保証金	607,993	612,121
保険積立金	917,461	932,650
繰延税金資産	130,368	129,836
その他	145,355	143,154
投資その他の資産合計	2,152,995	2,204,874
固定資産合計	3,391,328	3,229,044
資産合計	7,716,023	7,306,835
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	290,648	19,210
未払金	803,183	984,138
賞与引当金	151,361	84,838
代理店手数料戻入引当金	4,418	3,627
その他	934,748	917,952
流動負債合計	2,184,359	2,009,767
固定負債		
長期借入金	255,520	232,820
退職給付に係る負債	251,803	279,821
資産除去債務	175,659	175,920
その他	271,206	227,833
固定負債合計	954,189	916,395
負債合計	3,138,549	2,926,163

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,915,314	2,915,314
資本剰余金	352,328	352,328
利益剰余金	1,785,980	1,786,223
自己株式	△618,874	△839,414
株主資本合計	4,434,749	4,214,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	142,324	165,821
その他の包括利益累計額合計	142,324	165,821
新株予約権	400	400
純資産合計	4,577,474	4,380,672
負債純資産合計	7,716,023	7,306,835

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	5,787,097	6,939,682
売上原価	1,416,273	1,879,439
売上総利益	4,370,824	5,060,243
販売費及び一般管理費	3,780,165	4,242,521
営業利益	590,658	817,721
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,594	2,986
未払配当金除斥益	1,468	1,228
受取保証料	5,453	6,135
その他	1,734	1,834
営業外収益合計	13,250	12,184
営業外費用		
支払利息	4,814	2,724
支払保証料	3,118	3,195
支払手数料	17,503	28,859
その他	609	329
営業外費用合計	26,044	35,109
経常利益	577,864	794,796
特別利益		
投資有価証券売却益	51,208	—
新株予約権戻入益	4,800	—
特別利益合計	56,008	—
特別損失		
店舗閉鎖損失	9,339	—
特別損失合計	9,339	—
税金等調整前四半期純利益	624,533	794,796
法人税、住民税及び事業税	199,747	207,277
法人税等調整額	4,939	42,662
法人税等合計	204,686	249,940
四半期純利益	419,847	544,856
親会社株主に帰属する四半期純利益	419,847	544,856

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	419,847	544,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,921	23,496
その他の包括利益合計	22,921	23,496
四半期包括利益	442,769	568,352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	442,769	568,352
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第3四半期連結累計期間において、自己株式の取得等に伴い、自己株式が220,540千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は839,414千円となっております。

（会計方針の変更）

（従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い等の適用）

「従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い」（実務対応報告第36号平成30年1月12日。以下「実務対応報告第36号」という。）等を平成30年4月1日以後適用し、従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引については、「ストック・オプション等に関する会計基準」（企業会計基準第8号平成17年12月27日）等に準拠した会計処理を行うことといたしました。

ただし、実務対応報告第36号の適用については、実務対応報告第36号第10項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、実務対応報告第36号の適用日より前に従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与した取引については、従来採用していた会計処理を継続しております。

（追加情報）

（PV収入の計上について）

当第3四半期連結累計期間において、既に役務提供（保険契約の代理・媒介）が完了している保険契約に基づき将来にわたって入金される保険代理店手数料収入のうち、当該将来の手数料債権の一部を売却し、PV収入として1,523,782千円を計上しております。

※保険代理店事業に係る売上計上について

保険代理店事業の主たる収入は保険代理店手数料収入であります。当社は、保険契約の媒介及び代理行為に伴い、各保険会社との契約及び手数料規程に基づき保険代理店手数料を受領しております。

保険代理店手数料の受領形態は、保険商品の種類（生命保険・損害保険、契約期間（1年・複数年）、保険料支払方法（年払い・月払い）、その他）、保険会社毎の契約及び規程により様々な形態があり、保険契約成立時に受領するもの（初回手数料）及び保険契約継続に応じて受領するもの（2回目以降手数料）等、これらについて一括又は分割ならびにその受領割合等が異なるものが存在しております。

当社は、初回手数料については保険契約成立時に受領する手数料額を売上計上しているほか、2回目以降手数料の一部については、複数年にわたる期間を対象とする保険契約のうち保険会社より計算結果確認書面の受領が可能である等の条件の下、翌1年の間に回収される手数料額を売上計上する翌1年基準を採用しております（一方で、将来発生する解約に備えて引当金を計上しております）。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年10月1日至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険代理店事業	メディア事業	再保険事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,703,394	574,558	509,144	5,787,097	—	5,787,097
セグメント間の内部売上高 又は振替高	423,420	6,086	—	429,506	△429,506	—
計	5,126,814	580,644	509,144	6,216,603	△429,506	5,787,097
セグメント利益	349,029	144,688	95,140	588,858	1,800	590,658

(注) 1. セグメント利益の調整額1,800千円にはセグメント間取引消去1,800千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年10月1日至平成30年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	保険代理店事業	メディア事業	再保険事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,917,117	483,160	539,404	6,939,682	—	6,939,682
セグメント間の内部売上高 又は振替高	261,626	1,481	—	263,107	△263,107	—
計	6,178,743	484,641	539,404	7,202,790	△263,107	6,939,682
セグメント利益	616,934	127,897	71,089	815,921	1,800	817,721

(注) 1. セグメント利益の調整額1,800千円にはセグメント間取引消去1,800千円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。